

## 特集展示：河口龍夫―種子・向光性

河口龍夫による種子シリーズの展開

河口龍夫（かわぐちたつお／1940―）は、日本の戦後美術を代表する作家のひとりであり、1970年代以降一貫して「関係」をテーマに制作を続けてきました。河口の作品は、目に見えない現象や関係性そのものを作品化する点に特徴があり、金属、植物、鉱物、光、温度、種子といった多様な素材を通して「生命とは何か」「時間はいかに流れるか」といった根源的な問いを投げかけています。

その代表的なシリーズのひとつが「関係―種子」です。このシリーズは1982年の《関係―種子 銅4》を起点として始まり、河口が追い求めた「見えない関係」を、生命の根源的象徴である“種子”を通して探る試みでした。河口はその初期の活動において、熱や電流といった物理的エネルギーを扱う作品を制作し、目に見えない力の存在を可視化しようとしていましたが、1980年代に入るとその関心が「生命の潜在力」へと移行しました。種子は小さく無言の存在でありながら、やがて芽吹き、花を咲かせ、生命を循環させるエネルギーを内包します。河口はこの小さな生命体に宇宙的な時間と力を見出し、そこに人間との関係を問いかけたのです。

そうした作品のなかでも本展で展示されている《関係―種子・向光性》（1999）は、「関係―種子」シリーズ後期における重要な作品です。1980年代後半、チェルノービリ原発事故をひとつの契機として、河口は素材を銅から鉛へと転換しました。鉛は放射能を遮断する物質であり、「生命を守る」象徴として用いられました。その後1990年代以降になると、河口の関心は「守る」から「感じ取る」方向へと変化していきます。蜜蝋はその転換を象徴する素材です。鉛の重く閉ざされた質感に対して、蜜蝋は柔らかく光を透かします。かつての作品が外部から種子を「封じる」ことで関係を遮断していたのに対し、《関係―種子・向光性》では光と空気を媒介に、作品そのものが観者に向かって開かれています。

さらに、蜜蝋は人間が人工的に作る物質ではなく、自然の営みの中でミツバチが生み出す生命的な素材です。河口は、人類の科学技術が自然を破壊する一方で、ミツバチが生み出す蜜蝋や蜂蜜は自然にとって無害であり、生命の循環の中で機能していると語っています。その点で蜜蝋は、種子と同じく「生命をつなぐ素材」であり、自然の持つ調和と循環の象徴でもあるのです。

河口が長年追求してきた「関係」という主題は、本作によってより感覚的で詩的な次元へと発展しました。《関係―種子・向光性》は、生命や時間、そして再生といった普遍的なテーマを、光を通して語る作品であり、静かな中に確かなエネルギーを宿しています。種子がまだ芽吹かなくとも、未来へ向かって光を求める可能性を内に抱えているように、この作品もまた、時間とともに生き続ける存在です。河口にとっての「関係」とは、単なる物質的な結びつきではなく、見えないものを感じ取り、想像力によって世界とつながる行為そのものであったと言えます。

（当館学芸員 黄夢圓）

## 〔展示企画〕

森 光彦（当館学芸員）

黄 夢圓（当館学芸員）

福田里和（当館学芸員）

一柳由樹



## アンケートへのご協力をお願い

本日はご来館いただき誠にありがとうございます。右記QRコードより、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。


## コレクションルーム 秋期

## 特集 こどもへのまなざし




2025年10月24日〔金〕―12月14日〔日〕 本館 北回廊1階



令和7年度文化庁文化資源活用推進事業

※: 音声ガイド  
※都合により、出品作品を変更することがございます。  
※リスト掲載順と展示順は必ずしも一致しません。

## 出品リスト

No.	登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ (cm)	初出展	音声ガイド	
特集：こどもへのまなざし										
105号室西										
1	日-1210	塩川文麟	文化5-明10	青緑楼閣山水図・ 瓶花唐子図	万延1年	紙本着色 金砂子 衝立（二面）	134.5×143.0cm			
2	日-1204	久保田米僊	嘉永5-明39	雨やどり	明治21年	絹本着色 軸	144.5×50.8cm		 162	
3	日-391	富岡鉄斎	天保7-大13	漁樵問答図	明治33年	紙本着色 六曲一双	各155.6×361.0cm		 3	
4	日-791	神坂雪佳	慶応2-昭17	供侍之図	明治末～昭和初期	紙本着色 軸	126.0×42.0cm			
5	日-155	猪飼嘯谷	明14-昭14	遊釣水車図	明治後期	絹本着色 二曲一双	各167.0×185.0cm			
6	日-832	森 守明	明25-昭26	雨後	昭和2年	絹本着色 二曲一隻	189.0×204.0cm	第8回帝展（特選）		
101号室										
7	日-576	木島桜谷	明10-昭13	和楽	明治42年	絹本着色 六曲一双	各152.5×360.0cm	第3回文展		
8	洋-246	浅井 忠	安政3-明40	漁村の少女	明治30年頃	油彩 額	キャンバス	45.3×33.5cm		
9	洋-752	伊藤快彦	慶応3-昭17	〔落ちた人形〕	明治34年頃	油彩 プリント	ゼラチンシルバー 紙 額	18.6×13.5cm		
10	洋-777	伊藤快彦	慶応3-昭17	〔幼き漁師〕	明治23年	油彩 額	キャンバス	88.5×65.8cm		
11	日-835	喜多川玲明	明33-昭15	背戸の夏	昭和9年	絹本着色 額	172.0×154.0cm			
12	日-012	三宅鳳白	明26-昭32	秋林小景	昭和9年	紙本着色 額	168.0×124.0cm	大礼記念京都美術館展		
13	日-654	後藤貞之介	明38-昭33	高台寺裏山	昭和8年	絹本着色 二曲一隻	屏風	158.4×186.2cm	第14回帝展	
14	日-087	石島良則	明36-昭14	供饌	昭和10年	紙本着色 額	195.0×200.0cm	第1回市展（緑賞受賞）		
15	日-045	西村卓三	明41-昭30	得度	昭和11年	絹本着色 額	237.0×183.0cm	昭和11年文展鑑査展		
16	日-624	梶原緋佐子	明29-昭63	姉妹	大正5年頃	絹本着色 額	112.0×65.0cm			
17	日-005	案本一洋	明26-昭27	饒春	昭和3年	絹本着色 二曲一隻	屏風	185.2×162.8cm	第9回帝展	 27
18	日-058	玉城末一	明30-昭18	藤椅子によれる少女	昭和9年	紙本着色 額	141.0×62.0cm	大礼記念京都美術館展	 133	
19	洋-255	霜鳥之彦 (正三郎)	明17-昭57	少女（休憩）	大正15年	油彩 額	キャンバス	72.7×100.0cm	第7回帝展	
20	洋-144	黒田重太郎	明20-昭45	朝涼	昭和10年	油彩 額	キャンバス	141.5×130.0cm	第22回二科展	
21	洋-046	近藤光紀	明34-昭23	少女像	昭和16年	油彩 額	キャンバス	79.0×64.0cm	第4回新文展	
22	洋-262	由里 明	大1-昭59	こども	昭和23年	油彩 額	キャンバス	145.5×97.0cm	第4回日展	
23	洋-048	伊谷賢藏	明35-昭45	燈下	昭和10年	油彩 額	キャンバス	144.0×110.5cm	第22回二科展	
24	洋-306	津田周平	明42-平2	階段の前	昭和15年	油彩 額	キャンバス	162.1×130.3cm	第27回二科展	
25	洋-135	森脇 忠	明21-昭24	骨牌	昭和12年	油彩 額	キャンバス	151.0×181.0cm	第1回新文展	

No.	登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ (cm)	初出展	音声ガイド
26	日- 772	秦テルヲ	明20 - 昭20	母子	大正末期	顔料 額	キャンバス 65.2 × 53.4cm		
27	日- 1021	丹羽阿樹子	明33 - 昭63	奏楽	昭和11年	絹本着色 額	198.5 × 209.6cm	改組第1回帝展	
28	日- 1027	丹羽阿樹子	明33 - 昭63	街頭所見	昭和7年	絹本着色 額	224.0 × 120.0cm	第9回青甲社展	
29	日- 148	菊池契月	明12 - 昭30	小楠公弟兄	昭和18年	紙本着色 額	172.0 × 113.0cm	第8回市展	
30	日- 845	菊池契月	明12 - 昭30	観画	昭和18年	絹本着色 軸	60.1 × 72.6cm	第9回瓊々会展	
31	日- 588	田代正子	大2 - 平7	街角の夕	昭和24年	紙本着色 額	195.0 × 136.0cm	第5回日展	
32	日- 292	堂本元次	大12 - 平22	帰りを待つ子	昭和49年	紙本着色 額	196.5 × 181.0cm	第6回改組日展	

102号室									
33	日- 043	三谷十糸子	明37 - 平4	朝	昭和12年	紙本着色 額	193.0 × 241.5cm	第1回新文展	
34	日- 570	三谷十糸子	明37 - 平4	蟻	昭和13年	紙本着色 二曲一隻	屏風 217.5 × 203.6cm	第2回新文展	
35	日- 084	三谷十糸子	明37 - 平4	月の暈	昭和14年	絹本着色 額	291.0 × 181.0cm	第3回新文展	
36	日- 568	三谷十糸子	明37 - 平4	独楽	昭和5年	絹本着色 二曲一隻	屏風 166.5 × 167.4cm	第11回帝展	
37	日- 571	三谷十糸子	明37 - 平4	春来る（春想）	昭和22年	紙本着色 額	192.0 × 66.5cm	第3回京展	
38	日- 572	三谷十糸子	明37 - 平4	三人の裸婦	昭和31年	紙本着色 額	205.0 × 137.0cm	第12回日展	
39	日- 573	三谷十糸子	明37 - 平4	棕櫚草の小径	昭和53年	紙本着色 額	213.5 × 144.5cm	第10回改組日展	
40	日- 574	三谷十糸子	明37 - 平4	月の出を待つ	昭和57年	紙本着色 額	179.0 × 180.0cm	第14回改組日展	
41	日- 892	川端健生	昭19 - 平7	遠野綾織村	昭和51年	紙本着色 額	162.1 × 260.6cm	第3回創画展(創画会賞)	
42	日- 890	山本俊夫	昭34 -	楽土	平成16年	紙本着色 額	182.5 × 368.0cm	2004京展 (京都市美術館賞受賞)	
43	洋- 688	唐仁原 希	昭59 -	STAR	平成24年	油彩 キャンバス	162 × 262cm	2012京展 (京都市美術館賞受賞)	

## 工芸に表された果実

北広間									
44	工- 888	黒井光珉	明24 - 昭50	葉巻入	昭和7年	鉄 ガラス	13.5 × 21.0 × 21.0cm		<span><span><span></span></span></span> 153
45	工- 1064	黒井光珉	明24 - 昭50	柿の一枝	昭和初期	金 銅	12.6 × 25.5 × 14.0cm		
46	工- 012	<span>(六代)</span> 清水六兵衛	明34 - 昭55	果実文飾皿	昭和10年	陶器 上絵付	高 8.5、 口径 45.0cm	第1回市展 (紫賞受賞、京都市買上)	<span><span><span></span></span></span> 82
47	工- 350	<span>(六代)</span> 清水六兵衛	明34 - 昭55	果実文飾皿（下絵）	昭和10年	墨 淡彩 紙	27.5 × 40.0cm	第1回市展出品作下絵	

## 河口龍夫《関係―種子・向光性》

103号室									
48	彫- 064	河口龍夫	昭15 -	関係―種子・向光性	平成11年	鉄 銅 紙 蠟 燭 硝子(ヒマワリ) 鉛 細紙 塩化カドミウム 銅 21点組	各高 55.0-200.0、 径 40.0cm	河口龍夫-関係・京都 (京都市美術館、1999年)	

## 関西美術院の画家たち

104号室									
49	洋- 565	澤部清五郎	明17 - 昭39	戸の前に	大正2年	油彩 額	キャンバス 80.4 × 65.0cm	帰朝個展 (大坂三越、1914年)	
50	洋- 254	霜鳥之彦 (正三郎)	明17 - 昭57	黒い帽子の女	大正12年	油彩 額	キャンバス 53.0 × 40.9cm		
51	洋- 011	霜鳥之彦 (正三郎)	明17 - 昭57	魚	昭和10年	油彩 額	キャンバス 71.5 × 89.5cm	第1回市展(京都市買上)	
52	洋- 090	太田喜二郎	明16 - 昭26	樹陰	明治44年	油彩 額	キャンバス 89.0 × 115.0cm	滯欧作	<span><span><span></span></span></span> 59
53	洋- 094	太田喜二郎	明16 - 昭26	水郷の新緑	昭和17年	油彩 額	キャンバス 99.5 × 112.0cm		
54	洋- 145	黒田重太郎	明20 - 昭45	ねむ咲く溪間	昭和11年	油彩 額	キャンバス 97.0 × 145.0cm	第23回二科展	
55	洋- 462	黒田重太郎	明20 - 昭45	蓮池	昭和23年	油彩 額	キャンバス 73.0 × 90.0cm	第2回二紀展	

No.	登録番号	作者	生没年	作品	制作年	形状・材質	サイズ (cm)	初出展	音声ガイド
56	洋- 143	池田治三郎	明21 - 昭41	射手	昭和16年	油彩 額	キャンバス 181.0 × 126.5cm	第4回新文展	
57	洋- 528	須田国太郎	明24 - 昭36	自画像	大正3年頃	油彩 額	キャンバス 38.5 × 46.0cm		
58	洋- 191	須田国太郎	明24 - 昭36	模写、ティツィアーノ「音楽家とヴィーナス」	大正8年	油彩 額	キャンバス 134.5 × 218.0cm	滯欧作	
59	洋- 098	須田国太郎	明24 - 昭36	早春	昭和9年	油彩 額	キャンバス 165.0 × 230.0cm	大礼記念京都美術館展	
60	洋- 025	須田国太郎	明24 - 昭36	村	昭和12年	油彩 額	キャンバス 94.0 × 128.0cm	第2回市展	<span><span><span></span></span></span> 115
61	洋- 416	川端弥之助	明26 - 昭56	パイプを持てる男	大正12-14年	油彩 額	キャンバス 72.8 × 60.4cm	滯欧作	
62	洋- 421	川端弥之助	明26 - 昭56	窓外風景	昭和7年	油彩 額	キャンバス 79.8 × 60.5cm	第10回春陽会展	
63	洋- 224	里見勝蔵	明28 - 昭56	舞姫	大正10年	油彩 額	キャンバス 60.6 × 50.0cm		
64	洋- 225	里見勝蔵	明28 - 昭56	女	昭和3年	油彩 額	キャンバス 53.7 × 73.5 cm	第3回1930年協会展	
65	洋- 063	国盛義篤	明30 - 昭26	箆の柿栗	昭和20年	油彩 額	キャンバス 48.5 × 59.5cm	第1回京展	
66	洋- 065	錦 義一郎	明31 - 昭37	流れ	昭和21年	油彩 額	キャンバス 64.0 × 89.5cm	第31回二科展	
67	洋- 012	伊庭伝治郎	明34 - 昭42	五月の谷	昭和10年	油彩 額	キャンバス 72.0 × 99.0cm	第1回市展(京都市買上)	
68	洋- 880	伊庭伝治郎	明34 - 昭42	早春	昭和24年	油彩 額	キャンバス 86.0 × 111.5cm		
69	洋- 003	伊谷賢蔵	明35 - 昭45	室内婦人像	昭和9年	油彩 額	キャンバス 145.0 × 111.0cm	大礼記念京都美術館展	
70	洋- 176	伊谷賢蔵	明35 - 昭45	緑陰歡喜図	昭和25年	油彩 額	キャンバス 145.5 × 97.0cm	第5回行動展	

## 秋の七草

105号室東									
71	日- 055	落合朗風	明29 - 昭12	梅ヶ畑の麦秋	昭和2年	紙本着色 額	182.0 × 209.0cm	第8回帝展	<span><span><span></span></span></span> 132
72	洋- 028	辻 永	明17 - 昭49	志賀高原の秋	昭和12年	油彩 額	キャンバス 71.5 × 90.0cm	第1回新文展	
73	日- 119	武藤 彰	大2 - 平18	洛北の秋	昭和20年	紙本着色 額	122.0 × 155.0cm	第1回京展 (市長賞第二席受賞)	
74	日- 275	山口華楊	明32 - 昭59	鶏頭の庭	昭和52年	紙本着色 額	161.5 × 115.0cm		<span><span><span></span></span></span> 51
75	洋- 842	国盛義篤	明30 - 昭26	晩秋	昭和4年	油彩 額	キャンバス 61.5 × 73.0cm	第8回春陽会展	
76	日- 1082	榊原雨村	明18 - 昭38	[初秋溪流図]	大正 - 昭和期	絹本着色 二曲一隻	屏風 136.0 × 135.0cm		
77	工- 056	河合卯之助	明22 - 昭44	黒釉鳶赤絵花瓶	昭和12年頃	徳利型 磁器	高 28.0、 胴径 12.0、 口径 2.5 cm		
78	工- 405	河合卯之助	明22 - 昭44	若萩色絵鉢	昭和33年頃	磁器	高 9.9、 口径 22.5cm		
79	工- 344	加藤忠雄	昭14 -	嵯峨野暮秋	昭和54年	彫鍛金 銅	18.0 × 45.0 × 45.0cm	第11回改組日展	
80	工- 215	森野嘉光	明32 - 昭62	撫子の図花瓶	昭和14年頃	陶器	高 16.9、 胴径 30.0cm		
81	日- 1360	幸野襟嶺	弘化1 - 明28	女郎花	明治期	絹本着色 軸	28.0 × 21.5cm		
82	工- 396	河合卯之助	明22 - 昭44	藤袴赤絵酒器揃	昭和11年頃	陶器（盃洗、徳利2本、 猪口6客、猪口袴6枚）	盃洗：高 8.3、 直径 13.6cm 徳利：各高 11.5、 7.2 × 7.2cm 猪口：各高 3.7、 口径 5.5cm 猪口袴：各高 1.6、 直径 8.9cm		
83	工- 107	<span>(六代)</span> 清水六兵衛	明34 - 昭55	古稀彩秋趣花瓶	昭和51年	陶器	高 49.5、 胴径 21.6、 口径 18.0cm		
84	工- 770	<span>(十六代)</span> 永樂善五郎（即全）	大6 - 平10	乾山写秋草透入向付	昭和期	陶器 10客組	各高 7.5、 口径 11.5cm		

## 屋外常設展示

美術館南西角									
85	彫- 047	富樫 実	昭6 - 令1	空にかける階段 88- II	昭和63年	花崗岩	1200.0 × 107.0 × 107.0、 1113.0 × 107.0 × 107.0cm		<span><span><span></span></span></span> 173